


















SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
人権・労働		【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	差別が起こらないよう管理職がマネジメントをし、雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、雇用条件で差別がないことを確認している。					5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8				10.2 10.3				16.1 16.2 16.7		
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントを防ぐ社員教育を行っており、相談体制を整備している。					5.1 5.2 5.5					8.5 8.8								16.1		
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	出退勤の記録や業務日報にて従業員の勤務時間や業務の負荷を管理し、また、労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有している。											8.5 8.8									
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者の採用を前向きに検討しており、労働環境や受け入れ態勢の整備についても進める予定としている。				4.4							8.7 8.8				10.2 10.3					
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	就業規則の通り、安全衛生管理に関し必要な事項を定め、社員（協力業者を含む）の安全を確保し、作業遂行の円滑化と生産能力の向上に取り組んでいる。												8								
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	健保組合や検診機関の指針に合わせメンタルヘルス対策に取り組んでおり、メンタルヘルス不調者を報告・審議する社内体制も構築している。																				
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性が活躍できる環境整備を進め、会社説明会等においても発信をしている。また、定年を迎えた60歳以降の再雇用にも取り組んでいる。					5.1 5.5							8.5				10.2 10.3				
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	業務に必要な資格取得の促進や、取得を志したい従業員への支援体制、各資格への手当支給、報奨金制度や教育訓練休暇を提供している。				4	5.5							8			9					
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	同一労働同一賃金の趣旨を踏まえ、社内の体制を整備し原則に沿った対応をしている。					5.5							8.5				10.2 10.3				
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	全ての従業員の健康診断受診や予防接種の補助等を行い、従業員への健康投資に取り組んでいる。また健康に関する情報配信に取り組んでいる。																8				
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物の種類や量を把握し、専門業者への委託により適切な処理に取り組んでいる。															11.6 12.4			14.1		
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	各拠点における概ねの使用量目標を定め管理を行い、また節電対策も講じ、エネルギー使用量削減の取組みを継続的に行っている。											7.3							13		
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	温室効果ガス排出量削減の取組みとして、LED照明の導入、ハイブリット車両の積極的採用、太陽光発電の設置等、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいる。											7.2 7.3							12.4 13.3		
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	法令等で規制されている有害化学物質を把握し、その使用については使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる。				3.9			6.3								11.6 12.4					
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	廃プラ削減のため、業務使用するビニール等を極力削減に努め、環境にやさしい再生可能原料の物を導入するなど、自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。							6.6											15		
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	廃棄物の適切な分別を徹底し、また、使用済み建築資材の回収やリサイクルに努めている。															12.5			14.1		
		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	自社の水資源の利用状況の把握に努め、無駄が無いよう管理し、利用効率の改善に取り組んでいる。							6.4 6.6													

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	環境マネジメントシステムへの取り組みとして、ISO14001の認証取得を検討している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	環境基本方針について、その取り組みや、環境の取り組みに関する情報発信の公開の準備を進めている。												12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	太陽光発電システムを導入し、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。							7.2							13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	再利用可能な資源はリサイクルできるよう取り組み、天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる。													12.2	13	14	15			
22	公正な 事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	サービス規定でも定めている汚職・贈収賄を禁止する方針を含む行動規範について、定期的な社員研修等においても周知徹底している。																		16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	サービス規定でも定めている不正競争行為に関与しない方針を含む行動規範について、定期的な社員研修等においても周知徹底している。																		16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	取引等における契約書の条項や秘密保持契約について、知的財産の保護についても明記しその保護に努めている。								8.2 8.3					9						
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報に対する基本方針を定め、ホームページ等においても公表し、個人情報を適切に管理する体制を整備している																			16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物は取り扱っていないため非該当とする。																			16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	サプライヤー、事業パートナー等との取引、調達時においては、可能な限りの配慮規定を追加する取り組みを始めている。					5				8			10		12	13	14	15	16	17
28		製品・ サー ビス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	契約先への製品の定期的な点検を行い、製品の保全を行い通行者の安全を担保する取り組みをしている。			3.9										12.4					
29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している		基本	経営方針に品質方針を定め、またお客様からのご指摘を頂く専用窓口も設け、品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している。																		9	
30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる		チャレンジ	自動ドアの提案により扉の開放など無駄な開け放しを 방지、空調効率をあげ省エネルギー化を進める提案に取り組んでいる。							6							12	13	14	15		
31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		チャレンジ	自動ドアの提案、安全な利用方法の啓蒙によるバリアフリーの推進をしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
32	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	経営理念に地域社会の発展に貢献する旨を明記し、感謝、ご奉仕、信頼と、自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している。				4					9		11	12		14	15		17				
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地域スポーツなどへの協賛や、定期的に自社付近の清掃により社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。				4							11			14	15		17				
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	自社の活動エリアが長野県が中心の地域密着型であることから、地元企業との取引を積極的に行っている。										8	9		11	12	13						
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内では共有している	基本	経営者が理念を持ち経営方針にも掲げ、定例会や総会において、経営理念や経営目標を社員に説明し共有している。									8	9								17			
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	就業規則に法令遵守について明記し常日頃から周知徹底。入社時にはその教育訓練も実施し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。																		16			
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	企業活動を統括する部署やそれぞれの責任者を選任し、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する体制を整備している。																			16		
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	様々なステークホルダーとの対話により、その内容を社内共有することで把握し、自主活動のステークホルダーへの影響について適切な対応を進めている。																			16	17	
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	リスク管理について基本方針を定めており、経営上の重要課題と位置づけ、リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している。																				16	
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	企業の社会的責任について行動指針にも明記し、定例会等においてはその内容を意識付けし、企業活動が及ぼす影響や対応について取り組んでいる。																				16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	事故や災害などの発生における対応フローを構築し、発生時においても事業継続できる体制を構築している。											9		11				13			13.1	
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	経営者と専門部署により、中期、短期における人材・組織戦略の立案と推進を行い事業承継に関する検討・対策を行っている。										8	9										17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）